

# 東京庄原格致会会報

第23号

2015年9月

発行人・積山弘佳  
編集人・花田和教  
印刷所・(株) クレスコアース  
コミュニケーションズ

二十六年度

## 総会報告

秋晴れの好天に恵まれた平成二十六年十月十九日(日)に二十六年度の総会・懇親会が開催されました。会場は昨年と同様の「ホテルゆうほう」と、参加者は会員三十六人に来賓五人を迎えて四十一人と昨年を一名下回りましたが、郷里から同窓会本部を代表して桑原幹事長が腰痛をおしての参加、また四年ぶりに母校から杉野教頭先生が出席され会を盛り上げて頂きました。

総会は十二時から寺川幹事長(三十七年卒)の開会挨拶で始まり、冒頭この一年間に事務局にご逝去の連絡を頂いた五名の会員の方のご冥福を祈り、黙祷がさげられました。

次いで積山会長(三十五年卒)が「今年百十七年を迎える伝統と歴史がある母校の卒業生であることを誇りに思い、東京庄原格致会の発展を願っている。」と述べた後、会の現状報告と活動への参加協力要請などの言葉が述べられました。

次に来賓の紹介が行われ、片山母校同窓会長の代理として出席いただいた桑原幹事長から故郷の現況について「口和町のもうもう祭りや二万人余の見物客がにぎわい、十四頭の牛のパレードや牛と子

供達の綱引きもあり、特に比婆牛の焼肉が大人気だった。庄原格致高校教育振興協議会の取り組み。少子化傾向の中での入学希望者の確保の問題、若者の定住を図るためには地域産業の振興の大切さ」などのお話がありました。母校の今岡校長先生の代理で出席いただいた杉野教頭先生からは「学校要覧」などの資料を持参いただき「今年は百二十人の定員に九十六人の新入生を迎え、校長・教頭共に交代するという慌ただしいスタート。五月末にマレーシアの姉妹校・クアラ・サランゴール理数中等学校からホームステイを受け入れたこと。九月二十八日からマレーシア・シンガポールへの修学旅行の成果。八月にオープンスクールを開き「英語の格致」をコンセプトとした学校紹介を実施した。」など母校の現況のお話を頂きました。

その後の議事では、花田事務局長(四十年卒)の二十五年度事業報告・会計報告が行われ、遠藤監事(三十七年卒)からの監査報告を受けた後に満場一致で承認されました。

第二部の懇親会は七階末広の間に移動して、福場副会長(四十五年卒)の司会で始まりました。出席者中の最年長者・山田健太郎さん(二十三年卒)の発声で乾杯が行われた後、会食に移り一年ぶりの再会となる懇談の輪が盛り上がりまし

た。

次いでご来賓の西上精二様(庄原実業・東京支部長) 十河研一様(世羅高校東京校友会会長) 並びに山本芳樹様(東京広島県人会会員拡大委員長) から祝辞を頂きました。

楽しい会話の輪が広がる中、郷土のお土産を賞品とした「ビンゴ大会」が行われました。前年までは福引でしたが会員は備後(びんご)の国の出であることから二十六年はビンゴ大会を行い、場内が一段と盛り上がりました。景品は「庄原ゆめさくら」から取り寄せた郷土の数々の名品、最初に「びんご」の声を上げたのは司会役の福場さんでした。

会が盛り上がる中、庄原民謡「敦盛さん」(庄原市無形文化財) 保存会の大岩征子さん(三十七年卒)のリードで合唱し、続いて「校歌・応援歌」を全員で声高らかに歌い上げました。

中締めは顧問の保田治義さん(二十六年卒)の一本締めで行われ、来年の再会を誓って三々五々のお別れとなりました。

(事務局記)



開会挨拶をする寺川幹事長



来賓の皆さん



出席された皆さん



懇親会の様子



宴が終わって!

出席者名簿

桑原知樹 庄原格致高校同窓会幹事長  
 杉野誠 庄原格致高校教頭  
 西上精二 庄原実業高校東京支部支部長  
 十河研一 世羅高校東京校友会会長  
 山本芳樹 東京広島県人会会員弘大委員長

山田健太郎 昭和二十三年卒 (釜田)  
 金森裕雄 昭和二十五年卒 (総領)  
 岡田昌人 昭和二十六年卒 (庄原)  
 佐竹幸二 同 (川北)  
 田辺良武 同 (東城)  
 保田治義 同 (川北)  
 兼利卓蔵 昭和二十八年卒 (西城)  
 近藤正昭 同 (西城)  
 明賀馨 昭和三十一年卒 (西城)  
 渡利治博 昭和三十一年卒 (庄原)  
 宮内伸子(中川) 昭和三十三年卒 (西城)  
 生田八洲紘 昭和三十三年卒 (濁川)  
 合田良三 同 (川北)  
 森沢進 同 (川北)  
 香川邦生 昭和三十四年卒 (川北)  
 黒田正宏 同 (川北)  
 迫田芳徳 同 (山内西)  
 米澤武則 同 (門田)  
 田淵統洋 昭和三十五年卒 (庄原本町)  
 積山弘佳 同 (口和)  
 堀越淳子 同 (庄原)  
 光島勝馬 同 (比和)  
 八谷英樹 同 (比和)  
 遠藤靖夫 昭和三十七年卒 (高)  
 大岩征子(花好) 同 (庄原本町)  
 寺川勝海 同 (西城)  
 川野正江(明石) 昭和三十八年卒 (西城)  
 小池正之 同 (庄原本町)  
 塚原通彦 同 (総領)  
 山城建治 昭和三十九年卒 (庄原)  
 田中文男 昭和四〇年卒 (板橋)  
 花田和教 同 (西城)  
 新宅一二三 昭和四二年卒 (三次)  
 福場泰蔵 昭和四五年卒 (庄原)  
 奥重秀彦 昭和四七年卒 (東城)  
 氏名の中の( )は旧姓

二十七年年度 総会・懇親会のご案内

十月十八日(日)

「主婦会館プラザエフ」にて開催

今年度の総会・懇親会を例年通り、十月十八日に開催いたします。

母校の校長先生並びに本部同窓会会長にも案内状を差し上げております。

備後弁で楽しい会になりますよう皆様のご参加をお待ちしております。

一、日時 平成二十七年十月十八日(日)

総会 (受付開始は十一時三十分から)

懇親会 十二時から三十分程度

約二時間(お開きは十五時三十分を予定しております)

二、会場 主婦会館プラザエフ

(八階 スイセンの間)

所在地 東京都千代田区六番町十五番地

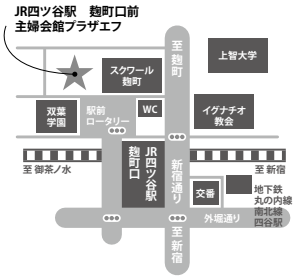
電話 〇三・三二六五・八一二一

三、会費 八千円

(但し女性並びにご同伴の方は六千円)

※年会費(二千円)は、当日受付でも承ります。

総会・会場のご案内



主婦会館プラザエフ  
 東京都千代田区六番町十五番地  
 TEL. 03-3265-8111

- ・JR四ツ谷駅 麹町口 徒歩1分
- ・東京メトロ丸ノ内線四ツ谷駅 1番出口(徒歩3分)
- ・東京メトロ南北線四ツ谷駅 3番出口(徒歩3分)

「ご挨拶」



東京庄原格致会会長  
 積山 弘佳  
 (三五年卒)

会員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。

また平素より東京庄原格致会に対し、ご支援とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年十月十九日、ホテル「ゆうほうと」での、本会の総会・懇親会を来賓五名、会員三十六名の出席のもと盛大に開催することができました。

その模様は別掲の報告にありますので省略いたします。

出席者の方々から年々会員数の減少・高齢化などにより会の将来的展望に危惧をしている等、貴重なご意見・ご提案を頂戴いたしました。

今後これらのご意見を踏まえ各卒業年度別の幹事の増強を図り、広く意見を頂きたいと考えております。

会の抱える諸問題に役員一同真摯に取り組み、会の発展のために全力を傾注致す所存です。

いままでもなく東京庄原格致会は、関東一円に在住される母校の卒業生、在籍された方々で組織され、会員相互の親睦、母校の発展に貢献する事を主な柱として、先輩方が伝統と歴史ある母校の同

窓の会を立ち上げられました。

この創設の趣旨を受け同窓生相互の親睦をより深めるため、毎年会報を発行して皆様方に送らせて頂いております。

また年二回のゴルフ懇親会、近場の旅行会、囲碁同好会(毎月)を開催し会員の皆様の懇親を図っており、情報交換の場としてホームページを開設しております。ぜひ開いて見て下さい。

ご報告になりますが、昨年の本校同窓会総会・懇親会に出席させて頂きました。懐かしい同期の方々や先輩、後輩の皆様と懇親を深めて帰りました。

また今岡校長先生より母校の様子も伺い、庄原地区も少子高齢化が進み近郊の中学生の人数も年々少なくなっている中、いろいろな取り組みをされ「知性と信念、魅力溢れる格致生」を今年度の教育方針として生徒の主体的活動を組織し生徒の希望進路の実現と人間力の向上を目指して、校長先生をはじめ教職員の皆さんが頑張っておられる様子が良くわかりました。

久しぶりの帰郷でしたので、兄から「口和インター近くのモーター物産館で収穫祭があるので見に行こう」と誘われ車で出掛けました。

口和備神太鼓の響きわたる中、比婆牛の網焼きをビール片手にいただいた後、中国横断自動車道(尾道松江線)が一部開通してしましたので口和インターから無料の高速道路に乗り島根県の雲南吉田インターまで約三十分ばかり走り、アニメ「秘密結社、鷹の爪の吉田君の故郷」まで行きました。

日本古来の製鉄法で栄えた町「たたら

「壱番地」で出雲そばを食べ、日本海の魚介類をお土産に一路高速道路を引き返し、高野インターで降り、道の駅「たかの」に寄りました。

高野産の米粉を生地に名産のりんごで作られた「高野アップルパイ」を堪能した後、新市から比和を周って吾妻山に登り天然芝の草原とブナの原生林を満喫し、一路川北、庄原市内を通って帰って来ました。

私の高校時代は自転車中心で車社会ではなかったため、一日でこんなに田舎を堪能出来るとは思いませんでした。

また今年度は、庄原実業高校同窓会東京支部・世羅高校東京校友会・広島県人会・備後の会・西城会・太刀洗会（口和）に出席し備北の方言に触れ人の温かさを感じる事が出来ました。

趣味を生かして同郷の人達に出会い故郷の話も尽きません。

今年の総会・懇親会を十月十八日（日曜日）に四ツ谷駅に隣接する「主婦会館 プラザエフ」にて開催いたします。

関東地方に在住の同窓生の皆様、相集い故郷の懐かしいお話を致しましょう。是非お知り合いの方をお誘い合わせのうえ、参加をお待ちしております。

今後とも会員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 「知性と信念、魅力溢れる格致生」



広島県立  
庄原格致高等学校校長  
今岡 護

校長として2年目を迎えました。同窓会の皆様方には、日頃より本校の教育活動に對しましてご支援とご協力を頂いておりますことに心より感謝し、厚くお礼を申し上げます。また、同窓生の皆様は、全国の様々な分野で活躍されており、在校生にとりましても励みとなっております。

本校は、今年度創立百十八年を迎え、これまでの伝統と歴史にさらなる一ページを加えるべく、日々教育活動に励んでおります。また、本校のミッションである県北の人材育成校として、グローバルな視野を持ち、庄原だけでなく、広島はもとより日本国内や世界的に活躍できる人材の育成に邁進しているところです。

本校の今年度の教育指針は「知性と信念、魅力溢れる格致生」としています。「知性」とは、単なる暗記による知識とは異なり、「物事を考え、理解し、判断する能力」のことをいいます。「信念」とは、自分の目標や夢に向かって挑み続けるための揺るぎない志のことをいいます。困難な状況や課題に屈することなく、自身自身の目標や夢に向かって格致高校で躍動してもらいたいと思います。自分から

行動を起こし、失敗から学ぶ経験を通して、生徒一人一人が自分自身の「殻を破る」ことを期待しています。

「魅力溢れる格致生」とは、教科書力だけが高い生徒ではなく、考え方や言動が人の心を打ち、価値観に裏付けされた人間性を持った格致生のことをいいます。そのためには、学習や学校行事、部活動などの様々な事柄に興味を持って積極的に関わり、自分の価値観を変えるような経験をすることが必要です。

相手の状況や心情を推し量り、自分が何を行わなければならないかを考えて行動できる人間になってもraitたいと考えています。

学習面では、昨年度より文部科学省の指定事業に認定され、論理的思考力の育成に取組んでいます。また、今年度より広島県教育委員会が取組んでいる、高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクトの「活用コアスキル」の指定校に指定されています。これらの取組を通して、知識や情報を自分の中で再構築して発信できる真の学力を持った生徒の育成を行っています。さらに、海外の高等学校との姉妹校提携による国際交流の推進、語学力の向上、海外との交流を通しての自国の文化や伝統の再認識等、幅広い視点から豊かな感性の育成を図ってまいります。

地域との連携に関しては、本校と東城高校・西城紫水高校との学校間連携は5年目を迎えます。また、広島県内の高等学校としては初めてとなる県立広島大学生命環境学部との連携協定を、平成二十七年六月一日に締結し、高大連携を一層

進めているところです。部活動では、地区総体で、多くの部が地区大会で1位を獲得し、殆どの部が県大会出場を果たしました。さらに写真部は全国高校総体に進出しています。

協定は、学生・生徒の学習意欲の向上や教育現場の活性化を目的にしており、具体的には、学部による格致高生向け模擬講義や、学部教員による格致高での出張講義の開催などが柱となっております。

本校は、学力向上のみを追い求めるのではなく、習得した知識を知性として活用できることを目指し、部活動や生徒会活動、ボランティア活動や寮生活に真剣に取り組むことにより、心を豊かにし共感



中村学長の立会いの下、協定を結び握手する奥学部長（左）と今岡校長

的な人間関係を育成する教育、周囲の人と協働して困難な課題を克服していく力の育成に尽力していきます。教職員一同、全力で生徒の活動を支援し応援していきますので、同窓会の皆様には、今後とも本校に対するご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成二六年度卒業生の進路実績(国公立大学及び関東地区私立大学・公務員)

※(一)内の数字は、全最優秀者のうち既卒生の数

※卒業生の全員の状況は、母校のホームページをご覧ください。

国公立大学	1人
大阪大学	1人
広島大学	2人
熊本大学	1人
徳島大学	1人
高知大学	1人
大分大学	1人
鳥根大学	1人
宮崎大学	1人
奈良女子大学	1人
県立広島大学	2人
広島市立大学	1人
名桜大学	1人
都留文科大学	2人
島根県立大学	1人
新見公立大学	1人
高知工科大学	1人
福山市立大学	2人
北九州市立大学	1人
鳥取環境大学	1人

奈良県立大学 1人

私立大学

昭和大学 1人

上智大学 1人

創価大学 3人

秀明大学 1人

公務員

自衛隊(曹候補生) 1人

## 「い」挨拶



同窓会会長

片山 孝昭 (三三年卒)

【略歴】

昭和三十三年卒。庄原中学PTA会長。四二歳〜六五歳まで、六期二三年間庄原市議会議員。議長、副議長、各常任委員会委員長。現在、庄原市地域審議会会長。事業評価委員会委員長。庄原自治振興区連協副会長。

東京庄原格致会の皆様には、ご健勝にておごしのことと拝察致します。

今年、旧庄原市、比婆郡五町、甲奴郡総領が合併してから十年目を迎えました。この合併は、国と地方の財政が厳しさを増す中で、国の主導で行われたものであります。

市町村の数は平成十一年三月末の三千二百三十二から、平成二十二年三月末で一千七百二十七まで減少し、特に一万

人以下の自治体の数は七割も減りました。

庄原市も合併当初は人口四万三千余でありましたが、十年が経過した今日では三万八千人を少し割りこんでいます。そして年々七百人前後の減少が続いており、今後更に加速していくと思われれます。

このような厳しい状況の中ではありませんが、今年四月には尾道松江線が全線開通となり活況を呈しております。

特に高野町に設置された「道の駅」は連日大盛況であり、農産物の売上げも目標を大きく上回っております。その反面旧自治体に於いては、急速に活力が失われている所もあります。

この合併には、四つの大きな目的がありました。一つには、規模を大きくすることで行政の能力を高め、地方分権改革の受皿にする。

次に行政サービスを落とさず職員数を減らすなど行政改革を進めることで、厳しい財政を改善するためであります。

三つめは、介護保険を中心とした福祉サービスの体制を整えるなど高齢化社会に対応するためであります。

四つめは、自動車中心の社会になって日常の生活圏が広がりましたので、行政区域のずれが生じ、受益と負担のアンバランスが拡大している中で、市町村の境界を修正する意味もあつたということでもあります。

合併が進めば、国、地方も効率もよくなり財政も改善されるということでありましたが、十年も経過する中で悪化の一途をたどっているのが実情であります。

合併市町村への地方交付税は十年間は変わらず、その後は年々減額していく、これは合併によるスケールメリットで経費の節減が可能になるというのがその理由であります。

十年が経過し今後地方交付税が年々カットされていく中で、今まで活用してきた合併特例債を含む起債の償還が始まる時期が到来すれば、市の財政運営も厳しくなるものと予測されます。

今後、行政需用が益々増加していく中で、思い切った行政改革も必要であります。例えば旧町に設置されている支所のあり方については、行政の代わりをするような住民組織、NPO等を中心となつて運営をしていくような方向も検討されるべきであろうと思えます。合併後の話はこれで終わります。

次に前回ご報告致しました庄原市から格致高校への補助金年額六十万円が平成十四年度終わりましたので、新しく補助金の継続と増額を格致高校教育振興協議会で要望書を提出し、要望活動を致しました結果、過去三年間の実績を評価していただき今年度から年額百万円に増額されましたので報告致します。

従つて今年度から、学校の学力増強、生徒指導もより充実したものになっていくものと思っております。又、平成二十九年度には創立百二十周年を迎えますので、近々に実行委員会を設立し準備にかかる予定であります。

終わりになりましたが、東京庄原格致会のご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。

# 会員だより

## 会員増を目指す妙案

あれこれ



小池正之

(三十八年卒)

〔略歴〕  
農業機械学専攻。京都大学大学院農学研究科博士課程中退。農学博士。鳥取大学、アジア工科大学院大学（タイ）、筑波大学にて教育研究に従事。筑波大学名誉教授。カセサイト大学（タイ）名誉工学博士。農業機械学会会長など歴任。査読付き論文多数。

ここ数年間遑って本会会報をみると、行動目標には常套句のように「会員増」が謳われている。その成果の程はさて措くとして、このことから、会員数の増減は本会員にとって関心度が高い事案の一つであることが分かる。

他校の同窓会も会員の慢性的な減少傾向への対策に腐心されているようだが、そのような時代であるからこそ、ここは広く会員諸氏の叡智を集めて善後策を考へる必要性があると思われる。

通常、同窓会組織の盤石な強みは、毎年生まれる母校卒業生が新規入会者として予定しうるとの、樂觀的とも思える期待感にこそある。

この期待感が空振りに終わると、組織

の持続的な運営にガタが生ずるようになり、何よりも財務への悪影響は企画構想力の低下を招いたりする。

郷土愛と母校愛を存在基盤の核として、郷土愛と母校愛を存在基盤の核として、確に込める組織の行動理念と成果をもって活動することにより、執行部と会員との相互理解が深まり、安定した運営ができるようになる。

行動理念は言いっ放しになっていないか、理念の内容の妥当性は一定期間ごとに吟味されているか、成果に伴う達成感には会員間で共有されているか、母校との絆の在り方と母校への貢献策は練られているか、と言った諸課題について検討すれば、自ずと活動内容の質的向上が図られ、活動に対する会員の関心も高まることになろう。

私自身、同窓会活動への関心は薄い方と自認している。しかし母校の思い出につながるセピア色の光景や空気が眼前に浮かぶと、涙がにじんできく。

一方、このような感情は、現代の若者世代も同じように持ち合わせているのだろうか、と思ったりする。

多分、相当程度に違っているのだろう。そうであれば想像力を働かせて、世代間の感覚の相違を意識しながら様々な企画を立案する、現実感覚に裏打ちされた力量が我々に求められていると考える。

本会で当面取り組む事業の一つとしては、若手会員（二十〜三十歳代層）の加入を促す、会員増に向けた妙案の具体化が挙げられる。

そこで、巧遅は拙速に如かずで、未熟

なままに叩き台としていくつかの案を、思いつくままに箇条書（順不同）で以下に述べてみた。今後、本会での会員増に係る検討の素材としていただけるようであれば幸いである。

- ① 入会メリットとなりうる、魅力あるサービスメニューの開発
  - ② 組織的取り組み（年代別、個人レベルでのネットワーク等）を可能とする参加しやすい企画と社会貢献の実践
  - ③ 在学生（二〜三年生）に対する同窓会組織の紹介。関東地域転出予定者（三年生）への会報の無料配布
  - ④ 新社会人、新入学生、新転入者等を対象とした直近の懇親会への招待
  - ⑤ 若手会員対象の情報交換会（低額参加費形式のパーティー）の開催
  - ⑥ 「女性部会（仮称）」の立上げ。女性グループのみで切り盛りするイベントの企画
  - ⑦ 在学生の将来活動（心配事、就活、進学等）に係るよろず相談（本会ホームページ《HP》を活用）
  - ⑧ イベント映像のネット配信及びアーカイブ化についての研究（当面は技術的可能性の調査研究）
  - ⑨ HPの利用とコンテンツの充実
  - ⑩ HPへのバナーの掲載及びその有料化
- 以下に各項目の簡単な説明をする。
- 1 本会は、会員へのサービス提供を使命とした同窓会組織である、との認識を関係者間で徹底することが重要である。そのうえで、魅力的な会員サービスメニューの開発を手掛ける。メニューの基層に古里の人情味が感

じられる要素が含まれれば素晴らしい。

- 2 通常、年代層によって考え方や行動様式が異なるため、年代層以外のキーワード（例えば趣味等）でグループ活動ができる方法を工夫する。
- 3 在学生へは、親身さを身上とした分かりやすい説明を心掛ける。印象に残るボランティア行動が、近い将来、入会へつながることを期待しながら？
- 4 卒業後の会員候補者への入会働きかけの第一弾？
- 5 若手会員主導の情報交換会の開催企画。現行の懇親会とは別途実施する。例えば、大学生が在籍する大学のサロン等便利施設を利用していただければ、手ごろな経費で満足度の高い会合が演出できる。
- 6 女性ならではの話題を横糸、世代間を超越したゆるやかな関係を縦糸とし、気軽なトークや料理等をアクセントとしたイベントの展開
- 7 HP上での、在学生とOB、OGとのよろず相談。双方の真剣な受答えが実現すれば、意外性をもって好意的に受け止められるのでは？
- 8 近い将来、動画の保存・活用は当たり前の状況になる。技術面に明るい若手会員の助力を仰ぎながら実施する、ワクワク感の醸成間違いなしの挑戦的な試み。年代を超えた会員間の知的好奇心を刺激するとともに、活動の多様化ももたらす。
- 9 現行のHPはこれまでの活動の資産であり、適正に更新しながら今後とも

継続する。組織の透明性と速報性の向上に資する。

10 財務の好転に多少なりとも寄与した  
いとの考え。

今回、妙案なる提言を行った理由であるが、若手会員は本務に多忙であり同窓会に加入するほど暇ではないとか、同窓会活動への無関心さの存在など、巷間言われている「特効薬はない」との悲観的な見方で議論を打ち切るのではなく、少しずつでも前進を後押しするような雰囲気組織に生まれることを願ったからである。

他方、革新はスピードが肝要とも聞く。建設的な意見交換が行われることを期待する。

### 「雑感・あれこれ」



藤原剛

(四三年卒)

【略歴】  
神奈川大学工学部卒  
立石電機(株)(現オムロン(株))入社  
アマノ(株)執行役員  
神奈川大学評議員  
など

昭和四十三年に高校を卒業し何も知らない田舎の若者が、いきなり大都会の横浜の大学に入り大きなカルチャーショックを受けた。アルバイトで先輩に田舎者と笑われながらも何とか都会の生活に馴染み、四年間で無事卒業。就職は少しで

も広島に近くなるようにと京都に本社がある立石電機(現オムロン(株))に入社。工学部出身なのにいきなり営業職に配属。自分では向いていないなど思いつつながらサラリーマン生活を大阪で過ごして十五年。金沢の営業所長や営業研修講師、新規事業企画の取り込み等々を経験し四十一歳の時に東京に転勤。三か月のリフレッシュ休暇も取得。その時分に東京格致会に入会させていただき幹事としてお役に立てないまま、自分の人生の中では非常にシヨックな出来事を経験。営業権譲渡ということで部下を連れてアマノ(株)に転籍。自分が望んだ訳でもないのに文化や風土が全く違う会社に皆で飛び込んだ。転籍した部下には色々な思いがあったと思うし筆舌に尽くしがたい苦労もあった。其のさなか、妻が大病を患い、同時に大阪に近畿営業本部長として移動したため、東京格致会にも参加できず五年間を過ごす。

仕事は順調で執行役員となり、縁があったのか学生時代を過ごした横浜の本社に帰ると同時にグループ会社の社長に就任。その間、業界の会長職を担い、現在は本社の常勤監査役を務める。会社法の改正やコーポレートガバナンスコードのスタート等、会社運営は益々難しくなっていくことが予想されるが、会社の業績はまずまず好調。後輩に後を託しながら六月に退任。横浜に帰って東京庄原格致会に復帰する間もなく今日を迎えてこうして会員だよりを纏めているが、この秋には庄原にUターンすることになっている。

十八歳の時に庄原を離れ四十七年間。出身地である庄原への恩返しの意味で、異業種交流や会社運営等々色々な経験やノウハウを活かして何かお役に立てないかと考えている。また田舎でも楽しい時を過ごすため今、端歌と三味線を習っており、男の料理やカラオケ等々色々仕込んでおこうと思う。これまでの人生はまさに「人間万事塞翁が馬」「禍福は糾える縄の如し」庄原では後輩諸君の力になればと考えている。

最後になりましたが東京庄原格致会の皆様には大変お世話になりました。今秋からは庄原から色々な情報を発信してまいります。東京庄原格致会の益々のご隆盛を祈念しております。

### 「五十年前の学生」



菟原風生

(四〇年卒)

【略歴】  
本郷町出身(山内中学卒)  
大阪大学卒業  
東京都職員になり、葛飾区へ配属  
定年、再任用期間終了後、葛飾区社会福祉協議会  
シニア就業支援室勤務中

私は今年の秋で六十九歳になる。公務員生活(勤務延長を含め六十五歳まで)に一区切りを付けた時に、少し余裕のある日々を送る予定であったが、現役の頃の関わりから社会福祉法人が運営する仕事をすることになり、シニア層の就労を

はじめとして多様な働き方を支援する職業紹介所の責任者としてフルタイムの勤務でかなり予定とは違った日々を送っている。

同年代や一廻り下の方と向かい合う毎日である。六十歳前から七十歳を超えた方まで、その多くは「団塊の世代」といわれる人であるが、それぞれの定年、再雇用後の自分のキャリアを生かせる仕事、社会に貢献できる場所探しの手伝いをさせていただいている。やりがいを感じながら過ごせることを有難く思っている。

さて、表題のとおり庄原格致高校を卒業して五十年が経っていることに気付いたのは、四月に姪の長女が大学の入学式のワンカットをスマホに送信してくれた時である。お祝の言葉の結びに「五十年前の学生より」と先輩らしさを出したつもりであったと同時に、半世紀の時の流れをしみじみと感じたのである。

新入生の祖父である私の長兄を含め五人兄弟全員が「比婆西」「庄原」「庄原格致」と校名の変遷はあるが同窓である。私だけが三日市の格致学院創設の地に甦った新設の木造としては県下最後の校舎に入学したことになる。

三年間ホームルームが同じ部屋で過ごすという珍しい経験をした。

真下が職員室、窓からは正面玄関前の乾坤園と運動場が広がっていた風景は今もはっきりと思い出すことができる。

純朴な田舎の高校生ばかりであった。東京で生活するようになり、広島県出身という決まって聞かれたのは「カープファンか?」と「原爆は大丈夫だった

「カープ」それまではファンというわけではなかったが周りが「巨人」ファンばかりなので、判官びいきもあったかもしれないが次第に応援するようになっていく。

マツダスタジアムにも二度足を運んだ。

娘の留学中に行ったことのある「シアトルセーフィコフィールド」(イチローや城島がいた)の雰囲気を感じさせる何度も行きたい球場である。

今年はまだ「投打が旨く噛み合わない」「抑えがない」などで低迷しているが、夏や秋の空にも鯉は泳げることとを期待して応援を続けたい。

「原爆」が落とされ、終戦を迎えて七十年が経つ。

その翌年私が生まれる三週間前に「日本国憲法」が制定された。

私のこれまでの人生はこの社会の根本規範としてこの国のあり方を規定してきた憲法とともに在ったわけである。

主権在民、基本的人権、平和主義など世界から日本が信頼される憲法である。

このところ、集団的自衛権に係る法案を巡って合憲、違憲と論議されているが、憲法は第九十九条で国会議員はじめ公務員などに憲法尊重擁護義務を明記していることを考える必要がある。

時々の権力者による恣意的解釈を禁じ、立憲主義による国造りを進めてもらいたい。今の法案は、国民に信を問うべき案件であると思う。

必要であれば国民投票も行うべきである。

七十年前の学生が学究生活の途中で無念の思いをしたことを忘れてはいけな

## 最後の勤務地「沖縄」

武広 巖

(四八年卒)



【略歴】  
出身地 庄原市宮内町  
広島大学(工部)卒  
人事院(広島、東京)(3年間  
外務省、福岡、札幌、那覇)  
勤務

私はこの春定年退職しました。北海道勤務も経験しましたが、最後の一年間は、常夏の国「沖縄県那覇市」での単身生活でした。

中田友之先輩(四〇年卒)は石垣島に四年間住んでおられたようです(昨年度の会報に寄稿あり)、沖縄を訪問された方も多しと思えますが、沖縄に住んで感じたことを思いつくままに書いてみました。

庄原も夏は結構暑いし、現在住んでいる埼玉も最高気温は沖縄より高い日が多いのですが、沖縄は、紫外線の強さが違います。朝の通勤時でも肌が痛い感じが、昼間にビーチにいるのは観光客だけで、地元の方は、紫外線の弱まった夕方ビーチに行きます。タクシーの初乗りは五百円とかなり安いのですが、それは、夏に短距離でも手軽に利用できるようなとの配慮もあるのではないかと思います。

た。

余暇には、卓球(クラブに所属)とゴルフ(二つの定例コンペに参加)をしましたが、卓球は体育館に冷房が入らず、夏の間は体調を優先し、練習を休みました。一方、ゴルフは、近い、安い、早い(十八ホール休みなしで行うスループレー)の三拍子で一年中楽しむことができました。

八月六日は「広島原爆の日」ですが、六月二十三日は「沖縄慰霊の日」で、沖縄県内の学校は休みになります。平和祈念公園(広島は、平和記念公園)で、総理も出席して式典が開催されます。(私も出席しましたが、礼服は、黒の「かりゆし」です。沖縄では、かりゆしはアロハシャツとは異なり、背広と同じように扱われています。私も五月から十一月まで、仕事はかりゆしで通しました。)

中国新聞は、カープ情報が満載ですが、沖縄の地元紙は、死亡欄が充実していて、沖縄の人は、新聞は死亡欄から見ると聞いたことがあります。墓は、亀甲墓という人が入れるほど大きなもので、春には清明祭という、私から見ると花見のような儀式を墓の前で一族で行います。

花見という、沖縄の桜(寒緋桜)は、早咲きで有名な河津桜の一種で、濃いピンクのかわいい花ですが、何故か桜前線は北から南へ南下します。私も日本一早い花見をしてきましたが、沖縄では、桜を見て通るだけです(私はソメイヨシノの下で座って行く花見の方が好きです)。単身赴任といえ、夜の活動が重要ですが、私は七軒の店に泡盛を置いて地元の人との交流を図っていました。沖縄の

飲み代は安く、懐には優しいのですが、肝臓には負担をかけてしまいました。

台風の新ニュースを見て、「沖縄は大変だなあ」と思っていました。地元の人には「いつものこと」と案外平気そうでした。家は台風強い造りで、最近停電や断水も少ないので、台風予報があるとレンタルビデオを借り、台風が過ぎ去るのを、父親が作ったソーメンチャンプルーを食べながら待つと聞きました。

食べ物で印象に残っているのは「山羊」です。北海道では羊肉を焼くジンギスカンですが、沖縄では山羊を、刺身や汁(内臓)で食べます。高級料理ですが、独特の匂いがあります。匂い消しに生のヨモギを入れますが、沖縄の人でも食べられない人もいます。ゴルフ仲間、山羊料理で送別してくれました。

沖縄の離島巡りも楽しいものでした。南大東島、久米島、石垣島、宮古島等に行きましたが、どの島もサトウキビがあり、「ざわわ ざわわ ざわわ 広いサトウキビ畑」と森山良子の歌が聞こえて来そうでした。

しかし、のどかな風景の中に、戦争の傷跡や基地問題を抱えているのも沖縄です。東京から観光に来た友人は、ひめゆり資料館で沖縄戦の話聞き、涙を流していました。

とりとめの文章になってしまいましたが、皆さん、異国情緒たっぷり奥深い沖縄をゆつくり訪ねては如何でしょうか。観光地巡りだけでなく、地元の人と触れ合う機会があれば記憶に残る旅になると思います。

# 母校だより

## 近況報告

庄原格致高校 教頭

杉野 誠

平成二十六年度は、校長・教頭が共に異動する中で始まりました。私自身まったく勝手がわからない中で、進路実績と入試倍率の向上を目標に掲げ格致での一年目が始まりました。

本校は、生徒の全人格的な成長のため、文武と称される学習と部活はもろろんのこと、行事にも大変力を入れており、カレンダーは連続する行事で埋め尽くされます。就任式・始業式・入学式を終えた実感も湧かぬまま、スタートと同時に怒涛の行事の波に飲み込まれました。

年度初めの五月半ばには既に格致祭文化の部が開催され、その熱も冷めやらぬ5月末にはマレーシアの姉妹校クアラ・セランゴール理数中学校から生徒二十四名と教員三名がホームステイに訪れました。同じ頃、三年生は、地区総体・県総体の終了とともに、名実とも受験生として勉強一色の日々に入入していきま

した。  
夏休み明けの  
九月中旬には、格  
致祭体育の部を  
さわやかに開催  
その後、九月末  
から十月初めに  
かけて二学年が



9月 格致祭体育の部

修学旅行でマレーシアの姉妹校及びシンガポールを訪問し、有意義な交流の機会を持ちました。十月には同窓会のご支援も得て、近隣の高校とともに全校で狂言を鑑賞。  
十一月には、地元庄原市の木山耕三市長様をはじめとする地域の各界の名士をパネリストにお迎えして、格致生が「地域（郷土）発展のために何ができるか」をテーマにシンポジウムを開催。これには生徒の代表も意見発表を行うとともにパネリストとして登壇し、来賓と熱いトークを展開しました。終了後の感想では、地域に初めて目を向けたことや、将来地域発展のために働くことを決意するものなど、改めて格致生の心意気を知る機会となりました。  
さらに十二月には、吹奏楽部・邦楽部がクリスマスコンサートを開催。地域の方が多く鑑賞に訪れました。  
一月中旬にセンター試験が終わると、前年秋の推薦入試で本格化していた受験



9月 修学旅行で姉妹校を訪問

競争が一気に沸騰。悲喜こもごもの日々が続き、やがて在校生・教職員全員によるハレルヤコーラスですっかり有名になった卒業式へと続いていきます。しかし、三年生は卒業後も国公立中期・後期試験に挑戦する生徒も多く、以前とは違う意味で年度末まで落ち着かぬ日々が続くのが風物詩として定着しています。  
さて、このような慌ただしい一年の中で、母校の後輩がどのような活躍をしたのかを御紹介します。

進路実績では、昨年を上回る二十三名の生徒が国公立大学に合格し、久方ぶりに現役阪大生が誕生しました。また、写真部は連続して全国総合文化祭に出場。陸上競技部女子部員と卓球部女子が中国大会進出を勝ち取りました。他にも杖道や将棋（部活動に非ず）で全国レベルの活躍をする生徒が出るなど、文武両面で頑張っています。そして、これらのことを背景に、本校を志す中学生が増加。平成二十七年入試では倍率が一倍を超え

### 平成26年度 格致シンポジウム



11月 格致シンポジウム

## 株式会社 龍 寿司

代表取締役 椎名 喜多子

(旧姓 室伏)

東京都中央卸売市場内・1号館

TEL/FAX 03-3541-9517

TEL

03-3547-6894

営業時間/午前6:30～午後2:00

(予約はお受けしていません。日曜・休日等市場が休みの日は休業致します。)

体がよるこぶ!

## 「効く」漢方の正体

東京庄原  
格致会会員が  
上梓しました

薬剤師 惠木 弘著 (株)東洋薬行社長

定価 1050円(税込)

例えばカゼに効く葛根湯、10社以上から同名の商品が出ているが、品質は千差万別。当然、効果もまちまち。漢方生薬の品質を40年以上研究してきた筆者が、今まで誰も語らなかった、知らない損をする「効く」薬の選び方を指南する。

お求めはアマゾン(www.amazon.co.jp)かお近くの書店まで



ました。詳しくはホームページを充実させていきますのでそちらをご覧ください。さらに本年度に入り、県立広島大学生命環境部と高大連携協定を締結し、六月十一日に本校の今岡校長と同学部の奥尚学部長の間で協定書の調印式が挙行されました。また、念願であった特別教室棟と生徒校舎の間に三階建ての渡り廊下が建設され、来年二月に完成予定です。今後とも後輩たちの活躍にご期待ください。

# 郷土だより

## ふる里はいま

迫田 秀明  
(四一年卒庄原市居住)

ふる里 庄原もご多分に漏れず 地域差こそあれ高齢化と過疎化の波が押し寄せています。

人口動態でも明らかのように五年後十年後の姿は容易に想定できません。

しかし、このふる里を支える多くの人達が想定される結末を手をこまねいて受け入れるでしょうか？

かつて、このふる里の将来に不安をいだいて、また将来の幸せを願って自分の子どもたちを高学の大都会に送り出した親たちの思いも経済的負担にも耐えて支えてくれた人々たちにも感謝しないわけには行きません。

大望を抱いてふる里を出た者たちは皆それぞれ、その置かれた場所で立派に咲いて来たことを同窓会の集まりのたびに感じることが出来、誇り高い思いにさせられてきました。

もちろん、ふる里を出て行った者たちだけが頑張ってきたわけではなく地元に残った者たちも決して諦めることなく、努力し誇れるふる里の建設に務めてきたことは認めます。

私自身庄原で暮らす時間が次第に増えてきた事によるのでしようか。

ここに来て長い沈黙から目覚め、夢の描ける動きが芽生え始めていることに気がされます。

勇気ある志の高い方々の播いたタネがあちこちに芽吹いてきています。

大学の誘致・備北丘陵公園の開園・道路網の整備なども相まって、人々の交流の機会が増え、県大生など若い世代の視点 I J U ターン者の異能異才の視点、そしてそれらの視点を認め許容出来る人達の力が嘯みあい始めていることを実感しつつあります。

かつてのふる里庄原の持っていた先取の気質や先見の志が蘇りつつあるという気がします。

多くの異なる知や能の方たちの行動やアイデアが行き交う、何かを核にして人々が交流する、それぞれの人の思いに耳を傾ける、互いの言動や行動を否定しない、まず相手を認める、互いに相手を認め合う風土と人の輪を広げ続けるひとの一人になろうと決意し、ふる里のいまと真正面から向き合う自分でいようとしています。

全く個人的なゲストハウスとしてオープンした「welcome さこちゃん・ち」も少しずつ一般の方にも知られるようになり、公に通用する民泊施設としての許可も取って食品衛生責任者の認定も取りました。どなたでも welcome にしました。

庄原を一躍有名にしつつある「しようばら里山オープンガーデン」にも今年から庭主のひとりとして参加、日本庭園・果木・花木・バラ・アイリス・季節の花園・ハーブとテーマごとのゾーンを設け、庄原の自然と花をテーマにした活動にも積極的に取り組み多くの方々との交流にもつとめています。

これも開かれた庄原づくり、多くの方々との交流の機会づくりで地域おこしのお役に立ちたいと願う行動でもあります。

過疎化と高齢化、限界化のふる里から心豊かな身の丈の暮らしを實踐できる、人々の行き交う「帰りたい」「暮らしたい」「訪ねてみたい」誇れるふる里にしてゆきたいと思うのです。

ふる里を離れ、各界各方面で活躍の同窓の諸先輩・同郷の皆さまのご理解とご支援は大きな力になると思います。

是非機会を作ってふる里に足を向けていただきしたいと思います。開かれ始めたふる里庄原の姿に必ずや気づかれるはずです。たとえ訪れることが出来なくても、懐かしい思い出に残るエピソードや思い出の風景などお知らせくださいませんか？ 思い出の地を訪ねてその地、その情報をお知らせします。

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

## ガーデン&エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 八王子装建

代表取締役 西谷 光徳 (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応

八王子市安町 1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549

URL: <http://www.h-soken.com/> E-mail: [nisitani@h-soken.com](mailto:nisitani@h-soken.com)

J E W E L E R

miwa

東京都中央区銀座6-7-2

TEL. 03-3572-5011

<http://www.miwa.com>

ここ最近、ふる里庄原の元気を紹介する書籍の出版も興味深いものがあります。

その一部を紹介して皆さまの参考に供します。

- ・藻谷浩介著 里山資本主義 角川書店
- ・和田芳治著 里山を食いものにしてよう 阪急コミュニケーションズ
- ・松尾雅彦著 スマート・テロワール 学芸出版社

# 同好会だより

## 【囲碁同好会】

### 二七年以上期カップ杯、

### 合田さんが獲得

発足後一五年を数える囲碁同好会は、今年六月の例会で一六六回を迎えました。現在の会員数は一六名ですが、二名の方がご病気等で長期の欠席となっております、このところ一四名の会員で月例会を運営しています。新規会員の加入が待たれるところです。毎月、第二日曜日に新宿東口駅近くの「囲碁サロン 喜楽」で一、一時三〇分から夕方まで和気あいあいに碁盤を囲んでいますから、お一人でも、ご友人を誘い合っても結構ですから月例会の雰囲気を見に来てください。初心



対局風景

者の方も大歓迎です。

六月は上期の締めくくりとして、「カップ杯争奪戦」を今期の成績上位八名で争いました。大会方式は敗者復活もある、ダブルエリミネーション方式によるトーナメントで行われ、合田良三初段(三三年卒)が決勝戦で、敗者復活戦から立ち上げてきた桑原貞之六段(三五年卒)を下し、四戦勝ちっぱなしで見事に優勝しました。三位決定戦は敗者復活戦から立ち上げてきた宮原幸徳五段(二九年卒)と、全勝で勝ち上がった藤高明七段(二七年卒)との間で争われた結果、宮原さんが勝って三位に決まりました。見学希望の方は、事務局の八谷(三五年卒)までご一報ください。



優勝の合田さん(右)と準優勝の桑原さん

(携帯) 090・1105・7272

## 【ゴルフ同好会】

### 第五十一回東京庄原格致会

### ゴルフコンペへ

### 初参加の新山さんが優勝

四月八日(水)に予定されていた恒例の東京庄原格致会春季ゴルフコンペは、季節外れの雪により順延となり、六月十日(水)にあらためて千葉県野田市にある紫カントリークラブあやめコースで開催されました。

当日は、梅雨の合間の強い日差しの中で、熱中症対策の水分補給をしながら、十一名の仲間がゴルフを楽しみました。コースは、平坦でありながら、シヨットの正確性を求められるもので、左右の松の木や強い芝に苦戦することもしばしば(芝々)でした。



スタート前、やる気満々の参加者

## 創業36年



## 二階堂調剤薬局グループ

代表取締役 薬剤師

### 石井 美佐子

(旧姓 瀧口) (昭和48年卒)

東京都板橋区南常盤台 1-30-21

TEL 03-3958-9955

- まえの薬局本店 二階堂調剤薬局
- まえの薬局北口店 大山調剤薬局
- まえの薬局南口店

今回は、初参加の者も優勝の可能性がある新ペリアというルールで行い、初参加でスタート前にパット練習に余念のなかった新山さんが、見事優勝され、最高齢でチップインバーディーを決めた、鉄人室伏さんが準優勝されました。前会長と現会長は、親睦を最優先し、決して他の会員より上位にはいかないように気を遣っておられました。



優勝カップを受け取る、新山さん

今回の参加者は次のとおりです。(五十音順 敬称略) 生田八洲紘 亀井勲三 坑迫重臣(日彰館高校) 合田良三 新山千樫 武広巖 津田弘之(庄原実業高校) 積山弘佳 寺川勝海 福場泰蔵 室伏孝一

次回開催予定は次のとおりです。人数が多ければ多いほど楽しいと思います。ご参加をお待ちしています。

日時：平成二十七年十月十三日(火)  
場所：神奈川県厚木市上荻野4088  
大厚木カントリークラブ「桜コース」

ご案内は別途いたしますが、暫くご無沙汰の方や初参加の方は、合田良三さん(080・1242・0291)宛てご連絡ください。

(事務局記)

## 【バス旅行】

### 第十二回親睦日帰り旅行

朝には小雨の降っていた五月十六日(土曜日)、午前九時に特急踊り子号で東京駅と横浜駅からそれぞれ乗車して湯河原駅に向かいました。

参加者は湯河原駅に直行の一名を入れて丁度十名でした。

横浜駅から座席を向かい合わせにし、まずビールで乾杯をしました。

ゴルフコンペのこと広島カープやふる里庄原のことなど話題はつきません。

約一時間で湯河原駅に着きました。雨が上がっており、万葉公園「ごごめの湯」を目指して散策をしました。

総会で展示する写真を撮影しながら、千三百年前に町の総鎮守社として創建された五所神社に参拝して樹齢



後列 左から 花田・奥重・寺川・八谷・助政  
前列 左から 亀井・森沢・合田・積山・生田

八百五十年の御神木のくすのきに触れて元気をもらい、土産店の魚介類などを眺めながら湯河原温泉まで歩きました。約四十分で「ごごめの湯」に到着、汗びっしょりでした。

早速、地下の大浴場にて入浴、少しぬるめ(弱食塩泉)で最高の湯でした。

万葉公園で足に二か所、蚊に刺されましたが痒みが取れたのでお湯の効用にびっくり。

一時間くらい入浴してから食堂に集まり、焼き鳥やたんたん焼きそばを食べながら生ビール・日本酒を飲み近況報告や自慢話で盛り上がりました。

名物のたんたんたぬきの「坦々やきそば」は独特の辛みと旨み、麵にコシがあり非常に美味でした。

女性店員さんに「この辛みは何の辛み?」など鋭い質問する人もおられました。(笑)

少し酔ってから中締めになり、バスや散策する組などに分かれました。

ごごめの湯の近くに「二・二六事件」の現場となった光風荘という資料館があり、牧野伯爵が襲われた状況などの写真が展示してあり、女性ガイドの丁寧な説明に感動しました。

不動の滝に向かって坂道を登る元気な人もおられました。

駅まで思い思いに街中を散策した後、湯河原駅を午後四時過ぎの特急踊り子号に乗り、帰途につきました。

少し疲労感の残る楽しい親睦旅行でした。

(事務局記)

食彩館しょうばら

## ゆめさくら

庄原のお土産は、「庄原の食」を一堂に集めた「食彩館しょうばら ゆめさくら」特産店で!!

〒727-0004 広島県庄原市新庄町 291 - 1  
TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-4422  
URL : <http://www.yumesakura.sakura.ne.jp>



庄原さくら温泉

## かんぽの郷 庄原

〒727-0004 広島県庄原市新庄町281-1

TEL.0824-73-1800 FAX.0824-73-0100

<委託運営会社> 株式会社サンヒルズ庄原

社長 長谷部 泰士 (昭和48年卒)

平成26年度東京庄原格致会会計報告

(自平成26年7月1日～至平成27年6月30日)

(単位：円)

一般会計収支報告書

Table with 2 main columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Includes items like 前年度繰越金, 年会費, 総会費, etc.

特別会計(基金)収支報告書

(単位：円)

Table with 2 main columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Includes items like 前年度繰越金, 基金, 受取利息, etc.

財産目録(平成27年6月30日現在)

(一般勘定)

Table listing assets under general account: 郵便局 振込口座, 一般口座, 現金.

左記のとおり報告致します。

平成27年7月6日

東京庄原格致会

Table listing assets under special account: 郵便局 基金口座, 合計.

会 長 積山弘佳
監 事 遠藤靖夫
監 事 塚原通彦
事務局長(会計) 花田和教

東京庄原格致会役員名簿(二十五年十月二十日)

Table of board members including 顧問, 会長, 幹事, 監事, and 事務局長 with their names and terms.

編集後記

☆校長先生・教頭先生・本校同窓会会長にはご多忙のところ快く寄稿いただき心よりお礼を申し上げます。

☆会員の方から会員拡大方策について建設的なご意見をいただき、役員一同真摯に受け止め今後の各活動に役立てて行きたいと思っております。

☆心を同じにできる友が同級生であり、学んだことの誇りを感じさせてくれる場が母校である」と虎ノ門病院の先生が話して居られます。

☆会報の発行に際し、広告を頂いた広告主の方、ご寄付を頂いた会員の方々に感謝を申し上げます。

☆校正に従事された編集委員の方々に礼を申し上げます。(事務局記)

ホームページ活用のお願

http://www.t-shobara-kakuchi.com
ホームページをより充実したものにするため、皆様からの沢山の情報・投稿をお待ちしています。

年会費の納入のお願い!

「年会費」は、東京庄原格致会の会報発行等の運営費を賄うための最も重要な財源です。御一人二千元をお願いしております。

お送りしております振替用紙で入金いただきますよう、よろしくお願い致します。

デザイン・印刷・ノベルティで企業イメージをUPさせる販促品をご提案いたします。



株式会社 クレスコアスコミュニケーションズ
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-2-5 CTNビル7F
TEL.03-5207-5189 www.cresco-ars.co.jp

ご寄付をありがとうございました。
この一年間に次の方々からご寄付などをいただき、心よりお礼を申し上げます。

- 咽原 省二様 (一七年卒)
城戸口 和男様 (二六年卒)
平川 智子様 (三八年卒)
渡辺 千草様 (三八年卒)
桑原 草子様 (四〇年卒)
守長 和子様 (四二年卒)
石井 美佐子様 (四八年卒)

ご逝去のお知らせ

平成二六年度総会でお知らせした後、事務局で把握しておりますご逝去された会員の方です。

- 吉積 正隆様(二六年卒) 平成元年頃ご逝去
麻田 義之様(二八年卒) 平成二七年ご逝去
野津山 昭男様(三四年卒) 平成二六年ご逝去
国保 洋之様(四〇年卒) 平成二七年ご逝去

謹んでお悔やみを申し上げます。